

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 9 日現在

機関番号： 44701

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：平成20年度～平成23年度

課題番号：20500680

研究課題名 (和文) 紀南の民家の特性と変容に関する住生活的研究

研究課題名 (英文) Characteristic Features and Transformation of Folk Houses in Southern Kishu Viewed from the Standpoint of Daily Life

研究代表者

千森 督子 (CHIMORI TOKUKO)

和歌山信愛女子短期大学生活文化学科・教授

研究者番号：40290449

研究分野：総合領域

科研費の分科・細目：生活科学・生活科学一般

キーワード：住生活、民家

1. 研究計画の概要

本研究の目的は、紀伊半島南部の民家の特性と変容を住生活的視点から解明することである。

その内容は、(1) 平面構成を通して住生活の特性と変化を明らかにする、(2) 紀伊半島の特徴的な自然風土条件である、台風時や横殴りに降る風雨から家屋を守るための、建物の特性と変容を明らかにする、の二つから成る。研究は、紀南地方を紀伊半島南部、紀伊山地中央部、さらに、紀伊半島南東部に大別し、年度単位に各地域の研究を行い、最終年度において全体をまとめる計画である。

2. 研究の進捗状況

研究の進捗状況は目的に従い計画通りに、平成20年度は紀南地方の和歌山県東牟婁郡古座川町や那智勝浦町、新宮市を対象として、21年度は紀伊山地の中央部である、和歌山県東牟婁郡北山村や新宮市熊野川町、田辺市本宮町を、22年度は三重県南牟婁郡、熊野市を対象として調査、研究を実施した。

研究方法は、観察調査と聞き取り調査を主体とした下見調査実施後、調査家屋で観察、実測調査を行い、平面図と立面図、断面図、配置図採取、聞き取り調査を実施する。得られた調査資料に文献資料を交え、考察する。

(1) では以下の点が明らかになった。平面構成は土間と床上部分から成る。北山村や三重県熊野市では妻入り形式もみられるが、大半が平入形式である。土間形態は、紀伊半島南部では通り土間型と前土間型に大別され、紀伊山地中央部と紀伊半島南東部ではL型土間型と前土間型が主である。

床上の間取り形式は、カッテが1室下手に

張り出した平面構成を多くがとるが、地域的な特徴も認められる。紀伊山地中央部の田辺市本宮町では、L型土間で並列型と二列型の中間的な間取り形式が集中してみられる。また「志摩Ⅲ型」は紀伊半島南東部でのみみられた。

竈は紀伊半島南部ではカッテの土間境に据えられ、焚口は床上側に向く。紀伊山地中央部ではカッテの土間境や床上に据えられる。一方、紀伊半島南東部では床上に据えられるために地域特性がみられる。

カッテは炊事、食事、団欒、日常的な接客の場であったが、昭和30年代以降は燃料源が薪からプロパンガス化され、さらに50年代以降は床上ダイニングキッチン普及により、カッテと炊事場に大きな変容がみられる。

(2) の目的である、紀伊半島の特徴的な多雨、台風常襲といった自然風土条件と建物との関係性においては、まず、屋敷を石垣で囲う対策が各地域共にみられる。敷地の多くは山間部に位置するために横長に構成され、背後が山留のための高い石垣が迫り、屋敷前方や横にも石垣が配される事例が多い。

さらに、家屋の妻側や平側軒先に雨除け板を付ける対策がみられる。切妻屋根では大きく露出する妻壁を覆うガンギが、紀伊山地中央部と紀伊半島南東部で普及している。

雨除け板は木製からトタン製へと変化するだけでなく、アルミサッシ戸の普及により、さらに近年の台風通過の減少から、その必要性は低下し、撤去されている事例も多い。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

理由としては、各年度の計画通りに、調査、

検討、成果発表がおこなわれているためである。しかし、計画していたホームページでの公開は実施できていない。

4. 今後の研究の推進方策

今後の研究の推進方策としては、研究の全体像を掌握する上で、不十分な点や地域的な偏りの充足に取り組む。

とりわけ、平成 22 年度に実施した三重県西部の東紀州の調査は研究蓄積が少なく、和歌山県では見られない平面構成が確認されたために、重点的に行う。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 3 件)

①千森督子、熊野川上流域の民家における平面構成の特性と変容－田辺市本宮町－、民俗建築、第 139 号、pp.31～36、2011 年、査読無

②千森督子、北山川、熊野川流域の民家における平面構成の成立と変容、信愛紀要、第 51 号、pp.1～6、2011 年、査読無

③千森督子、谷直樹、熊野川、北山川流域の民家における平面構成の特性と変容に関する研究－田辺市本宮町、新宮市熊野川町、東牟婁郡北山村－、日本建築学会近畿支部研究報告集、pp.361～364、2010 年、査読無

[学会発表] (計 3 件)

①千森督子、谷直樹、熊野川、北山川流域の民家における平面構成の特性と変容に関する研究－田辺市本宮町、新宮市熊野川町、東牟婁郡北山村－、日本建築学会近畿支部研究発表会、2010 年 6 月 20 日、大阪工業技術専門学校

②千森督子、熊野川上流域の民家における平面構成の特性と変容－田辺市本宮町－、日本民俗建築学会、2010 年 5 月 22 日、北海道大学

③千森督子、紀南の民家の平面構成の特性と変容－古座川町・那智勝浦町－、日本家政学会関西支部第 31 回 (通算 87 回)、2009 年 10 月 18 日、京都女子大学

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況 (計 0 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

[その他]

①千森督子、和歌山信愛女子短期大学公開講座「近世～近代建築に見るふるさと 和歌山県の古民家探訪」講演、2010 年 11 月 13 日